

令和 5 年度 観光政策関連の新規・充実予算

1 観光バスの路上滞留対策等強化事業【3,500 千円】 **充実**

観光バスが路上滞留している主な地域において、観光バスの乗務員等に対して啓発文を手渡し、駐車場利用を促すなどの啓発を実施するとともに、実態調査を行い、更なる対策に活用する。

また、駐車場の利用を促すための啓発看板を整備する。

2 安心・安全な京都観光のための情報発信【12,400 千円】 **充実**

「京都観光快適度マップ」の掲載情報を充実し、混雑を避け快適に観光できる環境の向上及び分散化を促進する。

(1) 「京都観光快適度マップ」の運営

京都を訪れる観光客に混雑を回避し、安心・安全・快適に京都観光を楽しんでいただけるよう、ビッグデータを活用した混雑予測や、ライブカメラによるリアルタイム映像等の情報を多言語で発信する。

(2) ライブカメラ映像のテロップ表示機能の導入

現在配信しているライブカメラ映像(10 箇所)にテロップを表示できる機能を追加。

これにより、各配信箇所の実情に応じたマナー啓発、イベント情報・災害情報など有用な情報をタイムリーに表示するなど、ライブカメラ映像による発信情報を充実・強化する。

(3) ポータブルライブカメラの導入・運用

祇園祭の宵山や山鉾巡行など、特定の日時・場所での大きな混雑への対応策として、ライブ配信ができるポータブルカメラを活用し、混雑が予想される主な行事等の混雑状況をライブ配信する。

(4) 外国人観光客の混雑予測

現在、混雑予測に利用している国内観光客のビッグデータに加え、外国人観光客のビッグデータを活用し、より精度の高い混雑予測を発信する。

3 手ぶら観光の推進【4,000 千円】 **新規**

旅館・ホテル・土産物施設等のうち、手荷物預かり・配送サービスを行っている事業者、「Hands Free Kyoto[※]」へのサービス登録を促す。また、手荷物預かり・配送サービスを行っていない事業者には導入を働きかける。

さらに、「Hands Free Kyoto」の京都観光オフィシャルサイト「京都観光Navi」への掲載や、他の混雑対策やマナー啓発サイトとの相互リンク等により、更なる周知促進を図る。

※ 手荷物の預かり・配送サービス窓口やコインロッカー情報を検索できる手ぶら観光情報ウェブサイト

4 観光事業者への京都観光行動基準の普及促進事業【3,000 千円】 **新規**

観光関連事業者による京都観光モラルに沿った取組の積極的な実践を推進するため、「京都観光モラル推進宣言事業者」の募集・登録を行い、ステッカーの掲示や、優良な宣言事業者の取組事例等をホームページ等で発信することで、京都観光モラルを実践する事業者を「見える化」し、取り組む事業者の裾野拡大を図る。

※ 令和4年度に観光庁の実証事業として行った取組を本市及び京都市観光協会において本格的に実施するもの。

5 持続可能なインバウンド観光促進事業【51,000 千円】 **新規**

(1) 京都観光モラルをはじめとする情報発信の強化

京都観光オフィシャルサイト「京都観光Navi」や京都市観光協会のSNSを活用し、京都観光モラルや観光マナー、文化芸術、脱炭素や地域貢献に資するサステナブルな観光の取組などの情報発信の強化を図るほか、良質な民間ウェブサイトの記事等を集約したコンテンツの開発・運営を行う。

(2) インバウンド受入環境整備

京都市認定通訳ガイドを活用したモデルツアーの造成や、免税手続きに対応する事業者向けの多言語コールセンターを再開する。

(3) プロモーションの実施

ファムトリップ（メディア、旅行事業者等の視察ツアー）の催行や京都観光の映像コンテンツの制作によるプロモーションを実施する。

(4) 上質な観光サービスの充実

持続可能な観光やSDGsへの寄与、京都観光モラルの実践につながる、上質な観光コンテンツを造成する事業者を支援するとともに、宿泊施設と連携した質の高い観光コンテンツの周知案内、海外有力メディアを通じた情報発信等を行う。

6 修学旅行体験学習支援事業【5,000 千円】 新規

文化や産業など京都ならではの奥深い魅力を感じることができる修学旅行生向け体験プランの提供を行う。

対象：1月～2月に京都市内に訪れる修学旅行生

内容：令和5年度は花街文化をテーマとし、舞踊鑑賞、舞妓さんによるお話、質問等の交流などを実施する。

7 サステナブル MICE 都市形成事業【31,000 千円】 新規

(1) 新・京都らしい MICE 開催支援

脱炭素の取組や地域貢献等の SDG s に資する活動を推進する MICE 主催者に対して支援を行う。

・補助率（補助上限額）：1／2（300 千円）

あわせて、SDG s に貢献する MICE の開催増加を図るため、SDG s に資する MICE の効果や実施方法の周知を行う。

また、アフターコロナや SDG s の観点を踏まえた、MICE 開催都市としての京都の魅力を訴求する PR 動画等を制作し、プロモーションを行う。

(2) MICE 商談会への出展等

コロナ禍で分断された国際的な MICE 誘致ネットワークを再構築し、京都における MICE 開催の魅力を効果的に PR するため、MICE 商談会の開催及び出展を再開する。

8 万博に向けた機運醸成・誘客等推進事業【観光分 5,000 千円】 新規

関西観光本部（広域連携 DMO）・関西広域連合構成府県市・関西経済連合会等で構成する協議会に参画し、会場から市域への誘客に向けた取組を行うため、万博のテーマ等を踏まえた新しい旅行商品・コンテンツの造成や SNS 等を通じたデジタルプロモーション、観光情報の効率的・効果的な提供等の誘客促進事業を展開する。